

検証授業4 波照間生子教諭（南城市立大里中学校）

去る1月22日（金）に、後期教育研究員 波照間生子教諭の検証授業を南城市立大里中学校で行ないました。

中学校2年理科の授業で、パフォーマンス課題を提示し、その解決に向けて、光のどの性質が活用できるのかを予想させ、その上で、自作の「簡易屈折計」を活用して、紅茶と甘い紅茶の屈折角を測り、その後、パフォーマンス課題を解決するために各グループで話し合いを行い、結論を導き出しました。生徒が、根拠を示しながら、科学的に思考する様子が見て取れました。

指導講師の濱田栄作准教授（琉球大学）からは、「この検証授業で、生子先生の意図しているように、子ども達の科学的な見方を育てることが出来てきていると思います。パフォーマンス課題は単元の集大成として、実験で身に付けた知識を活用して解決することが多いのです。果たしてその課題で、予想を立てることが出来るのかは検討することが必要です。さらに、思考力・表現力が高められたのか、評価として見取することも必要です。でも、検証授業を3時間見ている中で、今日が一番子ども達も生子先生も頑張っていたと思います。」等の指導助言をいただきました。

子ども達が実験に取り組む様子を優しく見守る大里中学校の諸見里校長の姿が印象的でした。連携大学の琉球大学の学生も11名参加していました。



写真1 検証授業の様子



写真2 検証授業研究会の様子



写真3 大里中学校にて

【研究テーマ】

〈中学校理科〉

科学的な思考力を高める指導方法の工夫

～効果的な教材・教具を生かした問題解決学習を通して～

【研究仮説】

理科の授業において、効果的な教材・教具を生かした問題解決学習を工夫することで、科学的な思考力・表現力を高めることができるであろう。

検証授業を終えて（波照間生子教諭）

生徒にすごく助けられた授業でした。お互いに協力しなら課題に向かっていく姿勢がみられすごく嬉しかったです。参観者からの質問で予想の仕方についての内容が多かったので、パフォーマンス課題での予想の仕方をもっと研究したいと思います。前時でも、誘導的になりがちというアドバイスがあったので、今後の授業改善点としたいです。

ヒヤリングに向けて、検証結果をまとめていきたいです。

所長をはじめ指導主事の先生方や研究員のメンバー、生徒のサポートをすごく感じた検証授業でした。